

| 個別事業(取組)評価 | | | | |
|------------|--------------|------------|------------|-----------|
| 事業No. | 39 | 施策の柱への位置付け | 柱⑥ 体力づくり | |
| 事業名称 | 子どもの体力向上支援事業 | | 担当課 | スポーツ健康教育課 |
| | | | 当初予算額(千円) | 5,338 |
| | | | 補正後予算額(千円) | 5,078 |
| | | | 決算額(千円) | 3,457 |

| | | 当初計画 | 年度末点検・評価 |
|---|--------------------|---|---|
| ① | 現状(課題)とその要因 | 【現状】 ◆ 高知県の児童生徒の体力は、全国平均値より低い状況にある。 ※ H21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(全国順位) 小学5年男子 40位 女子38位 中学2年男子 42位 女子40位 | ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 最新のデータにおいても、改善の傾向は見られるものの依然として全国平均値より低い状況にあることが確認できた。 ※H22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(全国順位) 小学5年男子 40位 女子40位 中学2年男子 34位 女子36位 |
| | | 【要因】 ◆ 体力向上に向けた取組が十分に行われていない。 ※ H21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 運動ができるようになるための取組を「している」と答えた割合 38.3% (全国平均 48.3%) ◆ 児童生徒の基本的な生活習慣が十分に定着していない。 | イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 【参考】 ※H22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 「継続的に取組を行っている」と答えた学校の割合 小学校 54.2% (全国 68.1%) ※H21:小学校 51.1% (全国 63.0%) 中学校 39.7% (全国 25.5%) ※H21:中学校 24.8% (全国 21.9%) |
| ② | 目標(Outcome) | ◆ 体育授業改善に向けた取組を県内に拡大する。 ◆ 【数値目標】 体力アップ75プログラムを活用した授業の実施率 70%以上(小学校) ※「高知県子どもの体力・健康づくりプラン」を作成・配付 | ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 児童生徒の運動習慣の定着を目指した目標を設定し、具体的な広がり成果として「体力アップ75プログラム」の活用率を指標として設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) |
| | | 【検証(比較)方法】 ◆ 小学校体育に関するアンケート調査 (体力アップ75プログラム活用調査:12月) | ① 体力アップ75プログラムの活用率は数値目標を達成した。 ※児童生徒の新体カテスト実施状況調査 「体力アップ75プログラムに取り組んだ」 小学校 81.5% 中学校 57.8% 全体 73.5% ② 授業改善率は大幅に向上した。 ※平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 「授業改善に取り組んだ」 小学校86%(前年度比 34pアップ) 中学校83%(前年度比 13pアップ) |
| ③ | 実施内容(Input・Output) | ◆ 体力アップ75プログラム実技研修会(8月) ◆ 校内研修への指導主事の派遣 ◆ 体力アップ実践プログラムの作成 ◆ 小学校体育に関するアンケート調査(12月) | オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 体育実技指導者講習会(8月12日午後) 参加者 小学校 24名 中・高等学校 18名 ◆ 校内研修への指導主事派遣 21回 ◆ 体力アップ75プログラム活用カードの作成 ◆ 児童生徒の新体カテスト実施状況調査の実施(12月) ・県内全小中学校対象 |

| | | |
|------------|---|---|
| 総合評価と今後の方向 | 目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/> | 【今後の方向】 ◆ 平成23年度は、「こうちの子ども体力アップアクションプラン」の最終年度となるため、新たなプラン策定に向けて今年度に引き続き、下記の事項を計画している。 ・子どもの体力向上支援委員会の開催(年間6回) ※「こうちの子ども体力アップアクションプラン」の総括と新プランの策定 ・体育授業改善委員会(年間6回) ※幼児期の運動遊びプログラムの作成・配付 ※体づくり運動のモデル授業案の作成 |
| | 【総合評価】 体力向上については、学校・家庭・地域・行政が連携を図りながら進めていくことが重要となる。その連携を推進するうえで、中核となる本事業の重要性は非常に高い。平成20年度から22年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果からは、小・中学校とも体力合計点の改善率は全国トップとなっているものの、各項目の記録は、未だ全国平均値に届いていないものがほとんどである。次年度は、学校・家庭・地域・行政の連携を更に深めた取組を推進していくことが必要となる。なお、中学校においては、プログラムの活用は行っていないが、独自に工夫した活動を取り入れている事例が多くある。 | |